

令和5年度 学校評価 報告書



旭市立琴田小学校

令和6年3月1日

令和5年度学校評価について

1 目的

- ①本校の教育活動等の成果を検証し、必要な修正や改善を行い、児童がより良い教育活動を享受できるように学校運営の改善と発展を目指し、教育の水準の向上と保証を図る。
- ②学校運営に関して、学校が適切な説明責任を果たすとともに、学校の状況に関する共通理解をもつことにより、家庭及び地域との連携・協力の促進を図る。
- ③学校運営全般について評価を行い、その評価結果を広く保護者等に公開する。

2 方法

- 自己評価の基になる資料収集のため、児童・保護者・教職員向けアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。
- アンケート等の結果を集計、分析、考察し、評価を実施しました。
- 考察・評価から、今後の学校運営に関しての対応をまとめました。
- この結果は、保護者・学校評議員・学校ホームページに公開されます。

3 アンケート結果の処理について

肯定的 (%) は、質問に対し（とても思う : 4 思う : 3）の人数の割合です。
否定的 (%) は、質問に対し（あまり思わない : 2 思わない : 1）の人数の割合です。
評価 (点) は、質問に対する回答 (点) を次の式で処理したものです。

式：各質問の回答 (点) の平均値 / 4 × 100

【例】

1 児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身につけてきている。

(とても思う : 4 思う : 3 あまり思わない : 2 思わない : 1) で回答

とても思う	: 4	・・・	18名	4 × 18 = 72
思う	: 3	・・・	2名	3 × 2 = 6
あまり思わない	: 2	・・・	2名	2 × 2 = 4
思わない	: 1	・・・	2名	1 × 2 = 2

回答(点)の平均値は、 $(72+6+4+2) \div 24人 = 3.5$ $3.5 \div 4 \times 100 = \underline{87.5} \rightarrow$ 評価 (点)

<自己評価の資料として>

十分達成○ (75以上) 要努力評価△ (75未満) 不十分達成× (60未満) としてあります。

目次

自己評価と対応	1 ページ ~ 5 ページ
1 保護者アンケート結果	6 ページ
2 児童アンケート結果 (低学年)	7 ページ
3 児童アンケート結果 (高学年)	8 ページ
4 職員アンケート結果	9 ページ
学校関係者評価	10 ページ ~ 11 ページ

自己評価と対応

※自己評価は、A:十分に達成 B:ほぼ達成 C:やや不達成 D:不達成 とし、保護者アンケート、児童アンケート(低・高学年)、職員アンケート等を評価の参考としています。
 ※各アンケートは、【回答(点)の平均/4*100点】として集計し、十分達成(75点以上):○ 要努力評価(75点未満~60点):△ 不十分達成(60点未満):× で標記しました。

◎ 本年度の最重点目標について

1	授業に取り組む姿勢・ルールを職員・児童が共通理解し、徹底することで学習習慣を確立する。	評価	A
2	家庭学習の充実を図る。家庭学習への取り組み方指導、ICT機器の効果的活用と情報モラル・マナー指導を充実させる。	評価	B
3	図書館司書と連携し、読書活動を推進する。読書の苦手な児童に対して、効果的な指導・支援を実施する。	評価	B
4	豊かな人間関係を構築するため、あいさつ運動・「小さな親切」運動、ボランティア活動、勤労体験等を通して、思いやりや互いの個性を認め合う心を養う。	評価	B
5	進んで運動に取り組む、運動の楽しさを知るため、運動の日常化と体力向上を図る。	評価	A
6	学校・家庭・地域と連携し「開かれた学校」を推進する。児童一人一人の状況について家庭との連携を密にする。	評価	A
7	公正で効率的な職務の遂行とコンプライアンスを徹底し、「働き方改革」の推進、職員の「不祥事ゼロ」を実現する。	評価	A

○進んで学習する子どもについて

1	児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	評価	A	
	アンケート対象 評価	アンケート対象 評価	アンケート対象 評価	アンケート対象 評価
	保護者 ○	低学年児童 ○	高学年児童 △	教職員 ○

高学年児童のみ、肯定的評価の値が80%、評価点72.7とやや低い回答でしたが、他の対象グループの数値は、十分満足のいく結果でした。様々な支援を必要とする児童が多い中、集中力を高め、持続しながら学習に取り組ませるための基本として大切なことは、授業規律の徹底であると考えています。道具の準備、時間着席、グー・ペタ・ピン、授業中の勝手な出歩き等について、教職員で今一度共通理解を図り、来年度以降も徹底して指導にあたるよう努めていきます。

2	宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。	評価	A	
	保護者 ○	低学年児童 ○	高学年児童 △	教職員 ○

低学年児童では肯定率100%、評価点94.5とかなり高い数値ですが、高学年になると肯定率65%、評価点71.5と大きく下がっています。高学年児童は、自身の取組を振り返り、厳しく自己評価を行っている様子が覗えます。また、教職員と保護者の数値においても肯定率が100%と81%、評価点が84.6と76.4と大きく開きがあります。保護者の皆様のお子様に対する期待の大きさが感じられます。

家庭学習は、『学年×10分』を目安として、指導を行っています。家庭での過ごし方及びゲーム・ネットの使い方など、家庭と連携を図り、家庭学習の習慣化に取り組んでいきたいと思えます。

3	学校は、学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	評価	A
---	---------------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

本校の課題の一つに『学力の向上』が挙げられます。その基礎・基本となる学習内容は、読み・書き・計算です。昨年度の反省を基に、今年度の朝自習では、火曜日に漢字、水曜日に読書、木曜日に計算、金曜日は学級裁量という形で年間を通じて取り組んでいます。また、各教科の授業においても少人数の利点を生かしたきめ細かな指導を行っているところです。学習の定着度については、2月中に実施予定の千葉県標準学力検査の結果を基に評価を行い、次年度に向けての指導方法の工夫改善につなげていきたいと考えます。

4	学校は、児童が進んで読書するように指導・配慮している。	評価	C
---	-----------------------------	----	---

保護者	△	低学年児童	△	高学年児童	×	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校評価の児童の肯定率は低学年で48%、高学年で42%、評価値は67.9と57.7と他の項目と比較しても数値が大きく低かったため、評価をCとしました。

学校では、昨年度に引き続き読書賞の授与と読書ボランティアによる読み聞かせ活動、図書館司書による図書室の管理・充実と本の紹介等を行っています。それに加えて今年度は、毎週水曜日の朝自習を読書に設定しています。しかし、一部の児童は意欲的に取り組む様子が見られるものの、学校全体としての意識は高まっていません。児童を賞賛するための読書賞もあまり増えていないのが現状です。読解力の向上を目指すためにも、読書に対する意欲が高まるよう指導を工夫していきたいと考えます。

5	学校は、授業や家庭での学習にICT機器(タブレット)を活用している。	評価	A
---	------------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

ICT機器(タブレット端末や大型TV・拡大投影機等の映像機器)を活用した学習を今年度も積極的に取り入れています。どの学年の児童もタブレット端末の操作に大分慣れてきています。また、教職員もICT支援員からの指導・研修を受け、指導力が高まってきています。これからもデジタル教材を活用し、さらに児童が意欲的に学習に取り組める授業を行っていくとともに保護者との連携を大切にして家庭学習の充実を図っていきます。

○思いやりのある子どもについて

6	児童は挨拶や返事がきちんとできる。	評価	A
---	-------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

今年度の取組の一つとして『挨拶にっこり』と児童に呼びかけてきました。学校評価の肯定率は、低学年95%、高学年86%、保護者86%と高評価です。反面、教職員は肯定率73%、評価点70.0とやや辛口の評価でした。教師の期待するレベルの挨拶(大きな声・はっきり・自分から先に)に達するよう継続指導に取り組んでいきたいと思えます。

7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	評価	A
---	-----------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

友だちに親切にしてあげたことがありますか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

友だちのよいところや自分のよいところを見つけられましたか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

高い評価をいただいています。これからも道徳の授業及び日常生活における指導に継続して取り組みます。

8	学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めている。	評価	A
---	--------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

肯定率は、保護者94%、教職員100%でした。これからも学級担任による連絡ノートの点検や学校生活の観察、定期的な「日常生活アンケート」を通して早期発見・防止に努め、「道徳科」の授業や「諸活動」においても、思いやりの心や命を大切にする心を培っていきます。

○健康で明るい子どもについて

9	学校は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会等)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	評価	A
	保護者 ○ 低学年児童 ○ 高学年児童 ○ 教職員 ○		

運動や外あそびは楽しいと思いますか。

保護者	低学年児童 ○	高学年児童 ○	教職員
-----	---------	---------	-----

高い評価をいただいております。より子ども達の充実した活動となるよう、休み時間の設定等、今後も努めてまいります。

10	学校は家庭に対して、児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	評価	A
	保護者 ○ 低学年児童 高学年児童 教職員 ○		

給食をがんばって食べましたか。

保護者	低学年児童 ○	高学年児童 ○	教職員
-----	---------	---------	-----

児童が安全・安心して学校生活を送るために、これからも家庭のご協力をいただきながら健康・保健指導および食育指導に取り組んで参ります。

○喜んで働く子どもについて

11	児童の「勤労観」や「職業観」などが十分育成されている。	評価	B
	保護者 △ 低学年児童 高学年児童 教職員 ○		

保護者の肯定率が77%、評価点75.0とやや低い数値であったため、あえて評価Bとしました。新型コロナが5類に変更となってから、校内における様々な活動を再開して参りましたが、さらに体験的な活動を計画的・意図的に実施し、勤労観・職業観の育成に取り組んでいきます。

12	学校は、児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	評価	A
	保護者 ○ 低学年児童 高学年児童 教職員 ○		

そうじや給食のじゅんぴをがんばっていますか。

保護者	低学年児童 ○	高学年児童 ○	教職員
-----	---------	---------	-----

係や委員会活動にすすんで活動していますか。

保護者	低学年児童	高学年児童 ○	教職員
-----	-------	---------	-----

日々の清掃や委員会活動は、学年縦割りでも上級生が下級生と共に一生懸命取り組んでいます。また、各行事の準備なども高学年児童を中心に、大変意欲的に取り組む姿が見られました。さらに職業などにも興味・関心が高まるように指導していきます。

○安全、生活、家庭との連携

13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	評価	A
	保護者 ○ 低学年児童 高学年児童 教職員 ○		

交通ルールを守って登下校していますか。

保護者	低学年児童 ○	高学年児童 ○	教職員
-----	---------	---------	-----

PTA役員、地域ボランティアの方のご協力をいただきながら、登校時の安全確認を実施しております。また、教職員も通学路の安全点検、登校時の見守り活動を行って参りました。引き続き、連携・協力を推進しながら子ども達の安全確保に取り組んでいきます。

14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	評価	A
----	--------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

高い評価をいただいております。これからも安全点検等による安全・安心な学校づくりを目指していきます。

15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	評価	A
----	------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校評価の肯定率は、保護者が93%、低学年児童が88%、高学年児童が89%と高評価を得ています。しかし、否定的な回答をしている児童が少数ですがいることは軽視できません。「毎月の児童への生活アンケート」、「定期的ないじめ・セクハラ調査」、「日々の相談活動」を充実させることで、学校が楽しいと感じる児童の割合が100%に近づくように努めます。

16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	評価	A
----	-----------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校のきまりややくそくを守って生活していますか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

児童が授業に集中して取り組むためには、適切な睡眠時間と朝食をしっかりと摂ってから1日をスタートさせる事が不可欠であると考えております。保護者は、肯定率87%、評価点81.9ですが、教職員は肯定率93%、評価点73.3でした。保護者の理解と協力を得ながら、児童の規範意識をさらに高めていけるよう指導していきます。

17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	評価	B
----	-------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校のことをお家の人にはなしていますか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校でこまったことは先生に話すようにしていますか。

保護者	△	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

「学校で困った事は先生に話すようにしている」において、低学年・高学年共に肯定率・評価値が低かったため、全体の評価をBとしました。教職員は、日々子ども達の声に耳を傾け、相談には誠意を持って丁寧に対応する事を心がけております。子ども達が安心して相談できるよう、相談活動の充実を目指して参ります。

18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	評価	A
----	--------------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

児童の健康・保健面及び生徒指導に関する事など、内容の大小に関わらず、学級担任から保護者に積極的に連絡・報告をしております。これからも学校教育への理解をいただけるよう、小まめに連携を図って参ります。また、業務削減の一環として、学校配信メールを積極的に活用して情報発信を行ってまいります。

19	学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	評価	A
----	---	----	---

保護者	<input type="radio"/>	低学年児童	<input checked="" type="checkbox"/>	高学年児童	<input checked="" type="checkbox"/>	教職員	<input type="radio"/>
-----	-----------------------	-------	-------------------------------------	-------	-------------------------------------	-----	-----------------------

連絡帳をきちんと書いて家の人に見せていますか。

保護者	<input checked="" type="checkbox"/>	低学年児童	<input type="radio"/>	高学年児童	<input type="radio"/>	教職員	<input checked="" type="checkbox"/>
-----	-------------------------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	-----	-------------------------------------

連絡帳の活用については、低・高学年児童共に、肯定率は70%台でした。学校と家庭との連携を更に深めるために、これからも積極的な活用していきたいと思ひます。

学校だより等については、保護者からは肯定率98%、評価点89.9と大変高い評価をいただきました。今年度から、学校だよりには保護者の皆様からの感想やご意見も掲載しておりますが、今後も引き続き、積極的な情報発信に努めて参ります。

○特別支援教育について

20	学校は、特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	評価	A
----	------------------------------------	----	---

保護者	<input type="radio"/>	低学年児童	<input checked="" type="checkbox"/>	高学年児童	<input checked="" type="checkbox"/>	教職員	<input type="radio"/>
-----	-----------------------	-------	-------------------------------------	-------	-------------------------------------	-----	-----------------------

自分とちがう考えや行動をする友だちのことを大切にしていますか。

保護者	<input checked="" type="checkbox"/>	低学年児童	<input checked="" type="checkbox"/>	高学年児童	<input type="radio"/>	教職員	<input checked="" type="checkbox"/>
-----	-------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------	-----------------------	-----	-------------------------------------

友だちのよいところや自分のよいところを見つけられましたか。

保護者	<input checked="" type="checkbox"/>	低学年児童	<input type="radio"/>	高学年児童	<input type="radio"/>	教職員	<input checked="" type="checkbox"/>
-----	-------------------------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	-----	-------------------------------------

様々な配慮や支援を必要とする児童に対して適切な指導を行うために、計画的に研修を実施しています。また、児童の実態を日々把握し、職員間で情報共有を行うために、週1回の職員打合せや月1回の職員会議を活用しています。

○不祥事防止について		評価	A
------------	--	----	---

学校は、「不祥事ゼロ」をめざして意識改革に努め、効果的な研修を行っている。

保護者	<input checked="" type="checkbox"/>	低学年児童	<input checked="" type="checkbox"/>	高学年児童	<input checked="" type="checkbox"/>	教職員	<input type="radio"/>
-----	-------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------	-------------------------------------	-----	-----------------------

本校では、年度当初に「不祥事ゼロ宣言」を掲げるとともに、毎月1回計画的にモラールアップ研修(不祥事根絶研修)を実施しています。また、教職員が相互に積極的に声を掛け合い、仲良く風通しの良い職場作りに取り組んでいます。

○働き方改革について		評価	A
------------	--	----	---

(職員は)意識して時間外勤務を削減しようとしている。

保護者	<input checked="" type="checkbox"/>	低学年児童	<input checked="" type="checkbox"/>	高学年児童	<input checked="" type="checkbox"/>	職員	<input type="radio"/>
-----	-------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------	-------------------------------------	----	-----------------------

時間外在校時間が45時間を超える職員が毎月3~4名存在しています。働き方改革に対する意識は徐々に高まっていますが、教材作成や授業準備、行事の諸準備等の関係で、なかなか思うように進んでいないのが現状です。毎週1回のノー残業デーを確実に実施したり、会議の時間の短縮化を図ったりするなど、更に実効性のある取組を進めていきたいと思ひます。

1 保護者アンケート結果

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	児童は、授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	96%	4%	81.3
			88%	12%	80.3
	2	児童は、宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。	81%	19%	76.4
			81%	19%	77.3
	3	学校は、学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	90%	10%	80.9
94%			6%	82.2	
4	学校は、児童が進んで読書するように指導・配慮している。	78%	22%	74.2	
		74%	26%	75.2	
5	学校は、授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。	88%	12%	80.6	
		91%	9%	82.2	
思いやりのある子ども	6	児童は、挨拶や返事がきちんとできる。	86%	14%	78.8
			91%	9%	82.3
	7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	91%	9%	80.2
			91%	9%	81.2
8	学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めている。	94%	6%	81.0	
		87%	13%	79.4	
健康で明るく子ども	9	学校は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	98%	2%	86.6
			95%	5%	86.2
	10	学校は、家庭に対して児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	98%	2%	85.2
喜んで働く子ども	11	児童の「勤労観」や「職業観」などが十分育成されている。	77%	23%	75.0
			81%	19%	74.4
	12	学校は、児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	82%	18%	76.8
87%			13%	76.7	
安全、生活、家庭との連携	13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	91%	9%	82.1
			91%	9%	81.6
	14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	97%	3%	83.0
			97%	3%	83.1
	15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	93%	7%	87.1
			92%	8%	85.8
	16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	87%	13%	81.9
			80%	20%	79.4
	17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	98%	2%	86.8
96%			4%	84.3	
18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	99%	1%	88.4	
		98%	2%	85.5	
19	学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	98%	2%	89.9	
		97%	3%	84.8	
教支特 育援別	20	学校は、特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	98%	2%	88.9
			94%	6%	84.6

2 児童アンケート結果(低学年)

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	がっこうでべんきょうするときのきまりを、まもっていますか。	93%	7%	82.5
			98%	2%	86.2
	2	しゅくだいは、わすれずにやっていますか。	100%	0%	94.5
			100%	0%	93.5
	3	かんじ やけいさんなどを、がんばっていますか。	97%	3%	89.0
			96%	4%	90.6
	4	がっこうやいえで、すすんで ^{ほん} 本をよんでいますか。	48%	52%	67.9
			67%	33%	73.2
	5	タブレットをつかったべんきょうは、たのしいですか。	90%	10%	87.7
			95%	5%	91.8
思いやりのある子ども	6	あいさつやへんじが、きちんとできていますか。	95%	5%	86.3
			90%	10%	87.5
	7	ともだちに、しんせつにしてあげたことがありますか。	92%	8%	84.3
			90%	10%	86.6
8	ともだちのよいところやじぶんのよいところを、みつげられましたか。	78%	22%	80.0	
		81%	19%	81.9	
健康で明るい子ども	9	たいいくややすみじかんなどは、すすんでからだをうごかしましたか。	90%	10%	87.9
			98%	2%	93.5
	10	うんどうや ^{そと} 外あそびは、たのしいですか。	95%	5%	92.9
			96%	4%	93.9
	11	きゅうしよくをがんばって、たべましたか。	83%	17%	82.2
			82%	18%	83.8
子ども喜んで働く	12	そうじやきゅうしよくのじゅんぴを、がんばっていますか。	93%	7%	88.6
			98%	2%	90.4
安全、生活、家庭との連携	13	がっこうにくるときやかえるときは、こうつうルールをまもっていますか。	97%	3%	93.8
			100%	0%	92.1
	14	がっこうせいかつは、たのしいですか	88%	12%	84.2
			88%	12%	86.2
	15	がっこうのきまりややくそくをまもって、せいかつしていますか。	100%	0%	89.0
			93%	7%	88.8
	16	がっこうのことを、おうちの ^{ひと} 人に、はなしていますか。	70%	30%	75.4
			78%	22%	81.0
	17	がっこうでこまったことは、せんせいにはなすようにしていますか。	59%	41%	69.1
			84%	16%	80.7
18	れんらくちょうをきちんとかいて、 ^{いえ} ^{ひと} 家の人にみせていますか。	78%	22%	84.2	
		90%	10%	89.2	

3 児童アンケート結果(高学年)

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	授業にとりくむ姿勢・ルールは、まもっていますか。	80%	20%	72.7
			92%	8%	80.7
	2	家での学習(宿題や家庭学習など)に、進んで取り組んでいますか。	65%	35%	71.5
			70%	30%	74.3
	3	漢字や計算などに、がんばって取り組んでいますか。	71%	29%	75.8
			81%	19%	81.1
	4	学校や家で、すすんで本をよんでいますか。	42%	58%	57.7
			51%	49%	62.2
	5	タブレットをつかった勉強は、楽しいですか。	75%	25%	78.1
			82%	18%	82.8
思いやりのある子ども	6	あいさつや返事が、きちんとできていますか。	86%	14%	83.5
			89%	11%	83.4
	7	友だちに、親切にしてあげたことがありますか。	92%	8%	85.4
			89%	11%	86.8
	8	友だちのよいところや自分のよいところを、みつけられましたか。	82%	18%	80.4
			86%	14%	80.7
健康で明るい子ども	9	体育や休み時間などは、すすんで体を動かしましたか。	83%	17%	79.6
			74%	26%	78.4
	10	運動や外あそびは、楽しいと思いますか。	89%	11%	87.3
			85%	15%	85.5
11	給食をがんばって、たべましたか。	88%	12%	86.2	
		82%	18%	83.2	
喜んで働く子ども	12	そうじや給食のじゅんびを、がんばっていますか。	89%	11%	87.1
			96%	4%	84.6
	13	係や委員会活動に、すすんで活動していますか。	89%	11%	86.5
94%			6%	88.4	
合認(違い)を	14	自分とちがう考えや行動をする友だちのことを、大切にしていますか。	95%	5%	86.2
			91%	9%	85.1
安全、生活、家庭との連携	15	交通ルールを守って、登下校していますか。	98%	2%	91.5
			97%	3%	89.7
	16	学校生活は、楽しいですか。	89%	11%	84.6
			86%	14%	84.5
	17	学校のきまりややくそくを守って、生活していますか。	98%	2%	86.7
			95%	5%	86.1
	18	学校のことをお家の人に、はなしていますか。	74%	26%	77.7
			81%	19%	82.4
	19	学校でこまったことは、先生に話すようにしていますか。	66%	34%	70.0
			74%	26%	75.0
20	連絡帳をきちんと書いて、家の人に見せていますか。	74%	26%	77.7	
		84%	16%	81.1	

4 教職員アンケート結果

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	児童は、授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	100%	0%	78.8
			100%	0%	86.5
	2	児童は、宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。	100%	0%	84.6
			100%	0%	88.6
	3	学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	100%	0%	86.5
			100%	0%	85.4
	4	児童が進んで読書するように指導・配慮している。	85%	15%	80.8
			100%	0%	85.4
	5	授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。	92%	8%	88.5
			92%	8%	81.3
思いやりのある子ども	6	児童は、挨拶や返事がきちんとできる。	73%	27%	70.0
			64%	36%	67.9
	7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	93%	7%	80.0
			100%	0%	79.2
8	学校は、いじめの防止や早期発見に努めている。	100%	0%	96.7	
		100%	0%	94.6	
健康で明るい子ども	9	児童は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	100%	0%	90.0
			100%	0%	91.1
10	学校は、家庭に対して、児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	100%	0%	96.7	
		100%	0%	96.4	
喜んで働く子ども	11	児童の「勤労観」や「職業観」などが育成されている。	93%	7%	76.7
			85%	15%	75.0
	12	児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	93%	7%	76.7
			100%	0%	79.2
安全、生活、家庭との連携	13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	100%	0%	93.3
			100%	0%	94.6
	14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	100%	0%	98.3
			100%	0%	100.0
	15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	100%	0%	81.7
			100%	0%	84.6
	16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	93%	7%	73.3
			79%	21%	73.2
17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	100%	0%	91.7	
		100%	0%	92.9	
18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	100%	0%	96.7	
		100%	0%	98.2	
19	「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	100%	0%	96.7	
		100%	0%	98.2	
特別支援教育	20	特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	100%	0%	100.0
			100%	0%	92.9
不祥事防止	21	学校は、「不祥事ゼロ」をめざして意識改革に努め、効果的な研修を行っている。	100%	0%	100.0
			100%	0%	98.2
働き方改革	22	意識して時間外勤務を削減しようとしている。	93%	7%	88.3
			100%	0%	83.9

I 進んで学習する子ども

- 発表する教育活動では、どの児童もしっかりと発表する様子が見られ、日頃の学習活動の成果が出ていると思った。
- 改修された大会議室はよく整備されていて、学習にも適した環境であると感じた。
- 展示されていた科学工夫作品展の作品からは、児童の創意工夫が見られた。ライオンズクラブ会長賞を受賞した児童の作品をはじめ、どの作品も素晴らしいものであった。会長賞のレポートには、自分の作品の不備を自己分析してその原因や改善点が記入されていて感心した。また、どのレポートも文字が丁寧で正確に書かれていた。このことから、児童のプレゼン能力や書く力を高めるための教育活動がしっかりと行われていることがうかがえた。
- 1年生からのタブレットを使用した学習については、目覚ましいものを感じると共に、先生方やICT支援員のご苦勞も感じ取れる。しかし、それ以上に子ども達は興味をもって授業に取り組んでいるように思えた。
- コロナウイルスの流行も落ち着き、校外学習や運動会、プール学習、ふれあい交流会など多くが再開できたことは、子ども達にとって日々の学校での喜びが感じ取れた。

II 思いやりのある子ども

- 体育館での交流活動から児童が地域の方々とふれあう様子が見られた。こうした活動は児童の心を豊かにし、社会意識を高めていくものと思われる。安全・安心を十分に配慮して、学校全体で意図的・計画的にこうした活動を進めていくことがコミュニティスクールにもつながる重要な取組になると思う。
- 学年を超えた行事や交流活動が多くなり、又マスクが外されたことで笑顔やふれあいが多くなり、互いを思いやる行動が増えたのではないかとと思われる。
- こちらから挨拶すると大きな返事が返ってきました。挨拶する事でコミュニケーションが広がると思うので、これからも続けたいです。

III 健康で明るい子ども

- 毎朝、自宅前を歩いて登校する児童の姿を見かける。挨拶もでき、元気な様子を窺うことができる。
- 校庭など大声で楽しそうに遊んでいる姿や、休日などクラブチームの活動もほぼ通常に戻り、健康的な生活習慣が送れるようになってきたのではないと思う。
- 子ども達の顔を見ていて、表情が明るく感じました。

IV 喜んで働く子ども

- これからも地域の産業や名産品などの特性を生かした体験学習が多く行われることを望み、地域から多くの協力をいただきたいと思います。
- 文化祭ではゲーム後に引換券をもらい、景品をいただきました。子ども達はゲームの説明や案内が丁寧でスムーズに対応してもらいました。

V 安全、生活、家庭との連携

- 学校だより「ことだのこ」のお返事紹介コーナーから、保護者の学校への期待や思いを読み取ることができ、学校が家庭との連携を重視していることが良くわかる。これからも相互理解を深め、学校と家庭が力を合わせて児童の教育に取り組んでいくことを願う。
- 小学校前の道路で舗装工事が行われ、横断歩道やセンターラインが引き直された事で、通学時の安全確保がより保たれたように感じられたので、他の道路も通学路の明確化や子ども達の安全確保にさらに力を入れて行ければと思う。
- 文化祭でゲームに参加していた保護者と子ども達の距離が近く感じ、とても良い事だと思った。

VI 特別支援教育

○担当の先生が付いているものの、子ども達が分け隔て無くみんなで一緒に楽しんでいる子供の姿をよく拝見する。

VII 不祥事防止・働き方改革

○学校だよりも書かれていた『学校内においては、職員間でしっかりと情報を共有し合い…』とあり、報告・連絡・相談を生かし、互いに意見を伝え合える働きやすい職場環境づくりを広げていただきたい。

その他

○学校だよりで写真が多く使われるようになり、文字では伝えられない情景が手に取るようにわかりやすくなった。

○日々、登校時に横断歩道での交通安全指導及び見守りの実施については、子ども達や保護者にとって有難く安堵感が生まれる。

○プール学習などをやめる学校が多くなったとニュースで聞いた記憶があるが、体を使った体感型の学習は、きっと子ども達は楽しみにしていると思う。予算などもあると思うが、なるべく無くさずできれば多くして行ってほしい。

○地域の方々との交流により、たくさん学べたと思います。今後も必要な行事と感じました。